

## 第23回 揖保川流域委員会 審議結果速報

---

■日時：平成19年11月21日（水）10:00～12:00

■場所：宍粟防災センター 5Fホール

### 委員会の主な内容

河川管理者より、揖保川水系河川整備計画段階における分析計画書（案）についての、(1) 環境影響分析の目的、(2) 過去の流域委員会における目標洪水の考え方と課題、(3) 分析計画書における目標洪水の考え方および(4) 治水の具体的方策の考え方の補足説明がなされました。

#### 1. 目標洪水の設定について

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 治水の観点からならば目標洪水は現状の設定で良いが、環境、利水の観点からも検討すべきだと思う。
- 地域特性を踏まえた具体的な検討を行い、住民が関心を持つなかで議論を行うべきだと思う。
- 環境の改変を少なくすることを最大の目標として計画してほしい。
- 地域特性も変化していくので、それに対応できるような柔軟な計画にしてほしい。
- 住民の意見を大切にしてほしい。

#### 2. 分析計画書(案)について

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 報告書の段階ではなく計画段階が重要である。流程全体なのか、ポイントなのかグループ分けなどして、もっと分かりやすく工夫して欲しい。
- トレードオフの関係をいかに住民に理解して頂くかが重要であるので、重点的な箇所は押さえて進めていってほしい。
- トレードオフの関係を良い面、悪い面を明確にした説明を行うべきである。
- 治水、利水では専門用語が多いので、用語の解説やコメントなどで分かりやすくしてほしい。

#### 3. 傍聴者からの発言

1名の傍聴者から、以下の発言がありました。

- 堤防道路を広くして利用しやすくしてほしい。道路だけでなく、森の保水力の向上なども、国土交通省の事業だけでなく、関連機関と連携して行ってほしい。

以上